



日章学園九州国際高等学校校長便り 神無月

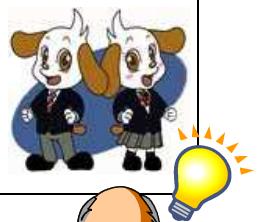
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：為せば成る

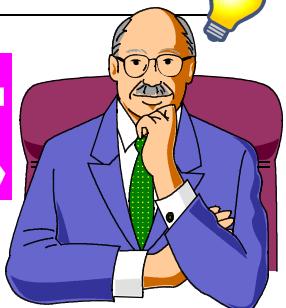
学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和4年(2022年)10月3日(月)校長 屋田伸仁



成功の方程式



日本の夜明けは、明治維新から始まったとよく言われます。明治という字は明るい方向に進むと書きます。この明治維新の時代に特に活躍した人は維新三傑と呼ばれています。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の3人です。薩摩から2人入っています。鹿児島の偉人です。現在の鹿児島の偉人と言えばだれを思い浮かべますか。いろんな人がいますが、私はまず稻盛和夫氏をあげたいです。納得される方もきっと多いと思います。その稻盛和夫氏が8月24日に老衰のため90歳でご逝去されました。各界で稻盛氏の訃報に悲しむ声が広がり、マスコミでも大きく報じられました。稻盛氏は京セラや第二電電(KDDI)を創業し、日本航空(JAL)を再建させた大実業家です。稻盛氏には多くの著書があります。本の中に氏の成功の法則がよく紹介されています。「成功の方程式」です。

「成功=考え方×熱意×能力」



「熱意」や「能力」は程度の差があれ、プラス面だけですが、「考え方」はプラス面もマイナス面もあります。マイナス思考だと、マイナスのかけ算をするので、結果はダメージ大で、大失敗です。氏はプラス思考や前向きな考え方こそが大切だと力説します。

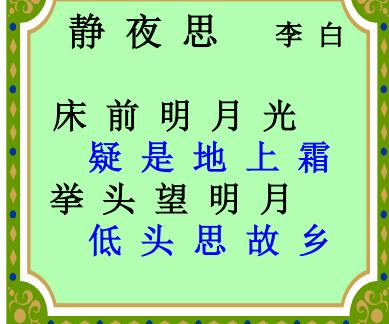
この成功の方程式はいろいろなところで活用できます。たとえば、大学受験や就職試験での面接試験で自分の熱意や能力をPRした上で、自分の生き方や物事の捉え方、将来の展望をプラス思考で語れば、面接官も高く評価してくれると思います。困難な状況に会っても、この人なら前向きに乗り越えられるという印象を与えます。ぜひ、成功の方程式を活用して、自分の道を切り拓いてください。



中秋の名月は、旧暦8月15日の十五夜にお月見をするならわしです。

2022年の中秋の名月は9月10日でした。日本ではススキを飾ったり、お月見団子を食べて祝います。本家の中国では、「中秋節」といって、家族が集まり、月を愛でながら豊作を祝う伝統行事です。丸い満月を家族団らんの象徴と考え、家族と過ごす大切な日とされ、みんなで月餅を食べて祝います。中国と日本の文化の共通点も感じられ、興味深いです。

さて、ここで、月にちなんで唐の偉大な詩人李白の作品をひとつ紹介したい。高校の国語の教科書に掲載されている有名な漢詩「静夜思」(李白)です。意味は、



寢室の前に広がる月光、その白さはまるで地上に
降りた霜のようだ。頭を擧げて明月を望み、頭を
たれては故郷のことを思ふ。



本校は、ほとんどの生徒が寮生です。寝静まつた夜中、寮の自室の窓から月を見上げて、家族を思い出し、望郷の念にかられ、涙することもあると思います。しかし、留学生は今はまだ帰れません。大学受験に合格し、故郷に錦を飾って帰るんだと、志を新たにして、これから始まる大学受験にがんばってほしいと願います。